

第19回 全日本フルコンタクトテコンド - 選手権大会 ・ ITA杯無差別級王者日本一決定戦 -

要 項

【1】名称

第19回全日本フルコンタクトテコンド - 選手権大会 - ITA杯無差別級王者日本一決定戦

【2】主催

日本テコンド - 協会

【3】後援

東京都

【4】協賛

ニュートヨー・グループ (神奈川県横浜市生麦)

【5】目的

- 1, 日本におけるフルコンタクト・テコンド - の普及・発展を通じて、日本国民、在留外国人の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。とりわけ健全なる青年および青少年育成に貢献する。
- 2, 上記目的を達成するため日本テコンド - 界の親睦・交流をはかる。
- 3, 日本で一番強いテコンド - 家 = 無差別級王者を公正なフルコンタクト・テコンドー・ル - ルで決定する。
- 4, 本試合とその練習過程を通じ、フルコンタクト系武道界における相対的な競技力向上をはかる。
「フルコンタクト系空手に勝とも劣らないフルコンタクト・テコンド - 」を目指す。

【6】開催日時

2008 (平成20) 年 11月9日 (日)

10:30開始 (予定)

【7】開催場所

後楽園ホ - ル

東京都文京区後楽1 - 3 東京ド - ム・シティ - 内 TEL (03) 3817 - 6092

JR 総武線・都営三田線 「水道橋駅」 徒歩3分

地下鉄 丸の内線・南北線「後楽園駅」 徒歩2分、 有料駐車場有り

【8】出場応募資格

出場枠は、18歳以上のテコンド - 有段者 (JTA、ITF各派、WTF) の中、

男子無差別級組手出場選手16名以内、

女子無差別級選手8名以内、

蹴武の型4名以内

合計28名以内とする。

ただし、準選拔選手は、上記の合計出場者数に含まない。

1、日本テコンド - 協会 (JTA) 所属選手

優先出場順位第1位

前年度全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会の入賞者
(男子1位～4位、女子1位～3位入賞)

なお、前年度大会・男子入賞者は、シード権者とし、準決勝戦迄、対戦しないよう配慮する。

優先出場順位第2位

本年度全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場選手選考会の
関東大会、神奈川県大会、中国・四国大会、東京都大会、関西大会の
組手および蹴武の型試合の1部優勝者

優先出場順位第3位

本年度全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場選手選考会の
組手1部無差別級予選会および蹴武の型1部準優勝者。
全日本学生大会の組手および蹴武の型試合の1部優勝者。

優先出場順位第4位

地方支部における支部長・責任者パイオニア推薦。

ただし、本推薦は、地方支部の活性化をはかることを目的とするため、JTA支部を運営し、フルコンタクトテコンドー普及のパイオニア的役割を担っている支部長・責任者に限る。

優先出場順位第5位(準選抜者)

JTAの新支部長・責任者推薦。

都道府県におけるフルコンタクトテコンドー普及のパイオニアではないが、
新規もしきは既存のJTA支部の支部長・責任者となり、

本年度全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場選手選考会の1部試合で3位以上の
入賞を果たした選手の中、理事会の推薦・承認を受けた選手。

優先出場順位第6位(準選抜者)

本年度全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場選手選考会の組手1部試合の結果、
「JTAアンダー7」、「JTA女性アンダー3」、「JTA蹴武の型アンダー3」に選ばれた
有段者(含昇段審査受験予定者)の中、理事会の推薦・承認を受けた選手。

優先出場順位第7位(準選抜者)

JTA社会人選手推薦。

社会人最終予選会である関西大会の組手1部試合の結果、入賞した有段者。

今後、所属支部の運営上、重要な役割を期待できる人材に限る。

JTA理事会の推薦・承認を受けなければならない。

優先出場順位第8位(準選抜者)

JTAの新支部長・責任者推薦。

都道府県におけるフルコンタクトテコンドー普及のパイオニアではないが、
新規もしきは既存のJTA支部の支部長・責任者となり、

本年度全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場選手選考会組手1部に出場した有段者。

JTA理事会の推薦・承認を受けなければならない。

2、他流派(I T F各派やW T F日本)の所属選手出場枠

他流派優先出場順位第1位

本年度全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場選手選考会の組手1部試合の結果、
優勝した有段者。

この場合、上記「JTA優先出場順位第3位」よりも優先出場権をもつ。

他流派優先出場順位第2位

過去2年以内の他流派の世界大会・全日本大会優勝者。階級不問。有段者に限る。

外国人選手でも可。在留資格を問わない。

ただし、専任のテコンドー家であり、「ギフトの有段者」でないこと。

他流派優先出場順位第3位

本年度全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場選手選考会の組手1部試合の結果、入賞(3位以上)した有段者。

JTAと友好関係にあるテコンドー他流派の支部長・責任者であることを要する。

JTA理事会の推薦・承認を受けなければならない。

【9】試合種目・表彰

一、無差別級フルコンタクト・テコンドー組手試合(ト・ナメント戦)

1、男子組手試合

優 勝 トロフィー、大メダル、大賞状

準優勝 トロフィー、大メダル、大賞状

3 位 大メダル、大賞状

4 位 大賞状

2、女子組手試合

優 勝 トロフィー、大メダル、大賞状

準優勝 大メダル、大賞状

3 位 大メダル、賞状

<注意 女性部は、参加人数の変動により、3位を表彰しない場合もある>

二、蹴武の型試合

優 勝 大メダル、大賞状

準優勝 大賞状

三、最優秀選手賞・蹴美宗師範賞

1、ITA木不

特注大カップに歴代男女優勝選手の氏名を刻印する。

次回大会まで優勝選手が保管し、次大会開会式で返却する。

2、最優秀選手賞状

1名

3、蹴美宗師範賞 奨学金30万円(上限。蹴美力等により変動する。該当者なしの場合もある)

JTAの理想 = 華麗で美しく威力のある蹴りを主とする優れた蹴美の選手を表彰する。

たとえば、回し蹴り主体の選手は該当しない。
最も望ましい受賞者は、組手のみならず蹴武の型も優勝するという快挙を果たした選手。

- 4、東京都知事賞・最優秀選手賞 1名
東京都所定の賞状を授与する。

四、2009年度、全日本フルコンタクトテコンドー大会シード権

男子組手試合「ベスト4」以上入賞者、
女子組手試合3位（または2位）以上入賞者、
蹴武の型2位以上入賞者に対し、
2009年11月8日（日）午後4時30分
後楽園ホール開催、
第20回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会の出場シード権を与える。

- 六、蹴美新人賞
大賞状 1枚

全日本大会初出場選手の中、最も優れた新人選手1名を表彰する。
受賞最低条件は、組手試合の場合1回戦勝利または蹴武型試合の場合決勝戦進出者。
ただし、該当者がいない場合もある。

【10】試合ルール

一、無差別級組手試合

- 1、JTAフルコンタクト・テコンドー・ルール、無差別級トーナメント制

蹴美7willルール、敗者復活ルール、最高審判長審議等改正新ルール採用

2、試合時間

1～2回戦 本戦2分1R。 延長戦2分（1R迄）
ただし、準選抜者同士の1回戦は本戦・延長戦いずれも1分とする。

準決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分（2R迄）

3位決定戦 本戦2分1R。 延長戦2分（1R迄）

決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分（3R以内）

本戦終了後、延長戦開始までの休憩は1分とする。

3、防具の着用、テピング、コンタクト・レンズなど

ヘッドギア - （青もしくは赤）

女性選手は、面付き防具を必ず着用しなければならない。

男性選手は、選手の希望により外すことができる。

手・足のテコンド - 防具（青もしくは赤）およびマウスピースを着用しなければならない。

男性は、ファールカップを必ず着用（道衣の中）しなければならない。

手のバンテージや蹴り・突きの威力を増すための防具の着用は禁止する。発覚次第、失格。

上記以外の防具（スネ・膝・肘などのサポ - タ - ）の着用やテ - ピングなどは、事前に大会主催者に届け出、医務関係者の許可・検印を受けなければならない。

試合で着用した防具、テ - ピング、包帯などは、体重判定の際、外すことはできない。

試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点2とする。

その他は、必要に応じて主催者が定め選手に通知する。

二、蹴武の型試合

1、決勝戦進出者選抜試合

1名づつリング上で自由選択した蹴武の型を行う。

2、蹴武型審判（河明生、妹尾将吾）は、上位2名を選抜する。

3、選抜された上位2名は、再び1名づつリング上で自由選択した蹴武の型を行い勝敗を決する。

三、セコンド

セコンドは、J T A現役会員に限る（他流派は除く）。
元会員（有級者）やO B（引退した有段者）は不可。

【11】ド - ピング検査

1、選抜された選手は、ド - ピング検査に協力し、拒否することはできない。

ド - ピング検査に協力しない場合、その時点で失格とし、予備出場枠選手を出場させる。

2、万一、試合終了後のド - ピング検査により、陽性反応が出た場合、全試合を失格とする。

その場合、順位を繰り上げる。それによって生じた順位の調整は主催者が定める。

3、万一、ド - ピング検査陽性反応が出た場合、氏名と所属を公表し、今後の大会に出場させない。

それがJ T A所属選手の場合、除名し、永久追放とする。

【12】大会出場申込書類・申し込み締め切り

1、J T A所属選手

1) 大会出場申込書（含む誓約書・ド - ピング検査許諾書） 1通

2) セコンド登録および全日本大会記念親睦会申し込み書 1通

3) 正装写真（5 c m * 5 c m、裏に氏名明記。3ヶ月以内撮影、画質の良いデジカメ写真可） 2枚

4) 道衣ファイティングポーズ写真（全身写真、1ヶ月以内撮影、画質の良いデジカメ写真可） 1枚

5) 簡易健康証明書 1通
（様式随意。コピー可。学校、企業、官公庁などでの健康診断の結果を記載したものでも可）

6) 参加費用振り込み控え（コピー可）

注意 入場テーマ曲は、音響責任者・坂口好生が決定するので不要です。

2、他流派

1) 上記1の1～6

2) 他流派のテコンド - 段位認定書 (段証A3白黒コピー)。過去、提出済みの場合不要。 1通

3) 他流派の推薦出場希望選手 (本年度J T A予選会入賞者は不要) は、

イ) 過去の他流派全日本大会入賞を証明できる表彰状などのコピー。 1通

ロ) 2ヶ月以内の所属道場内での自由組手もしくは1年以内の他流派全日本大会での試合を
撮影・録画したビデオテープ (C D・D V D等でも可) 1個

3、参加費用

J T A 所属選手 ￥ 1 0、0 0 0

年会費未納者は ￥ 1 2、0 0 0

他流派選手 ￥ 1 2、0 0 0

振込手数料は申込者負担。

支部・道場単位で振り込んで構わない。その場合、参加者の氏名を備考欄に明記すること。

参加費振込先

〔口座番号〕 0 0 1 6 0 - 6 - 1 8 5 0 5 8

〔名義〕 日本テコンド - 協会

2、申し込み締め切り

2 0 0 8 (平成20)年9月30日迄 (厳守)

上記期限迄、申請書が到着しない場合、失格となります。

ただし、最終予選会の全日本学生テコンド - 選手権大会各級1部優勝者は、あらかじめ持参した申請書 (写真2枚必要。当日、準備していない場合、全日本大会パンフレットには氏名のみ表示となる) を 10月13日午前中に盛島実行委員長に提出し、不足書類は3日以内に本部事務所宛に郵送すること。

3、上記、書類一式郵送先

〒144-0045

東京都大田区南六郷3-18-1-1301

日本テコンド - 協会本部事務所 御中

注意 持参受け取りは一切行わない。

5 , 問い合わせ

全日本 F T 大会実行委員長 盛島一盛
携帯 0 9 0 - 2 2 1 8 - 9 4 4 3 メール km@jita.jp

【13】注意事項

- 1 , 理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- 2 , 試合参加申請書および参加費用振込用紙には、必ず所属支部名を明示して下さい。
- 3 , 選手は必ず各種保険証の現物を持参して下さい。
- 4 , 後楽園ホ - ルには、ペットボトルや缶の飲み物を持ち込まないで下さい。
- 5 , ロッカ - ル - ムや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。大会主催者と後楽園ホ - ルは一切責任を負いません。
- 6 , 全日本大会のテレビなどの放映権、書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利はすべて J T A に帰属します。
- 7、ビデオ撮影は原則的に禁止です。

【14】観覧（有料）全席自由席

一般 当日 3 0 0 0 円
(前売り 2 5 0 0 円、J T A 支部、チケットぴあ、後楽園ホールにて販売)

小学生・中学生 当日 1 5 0 0 円
(前売り 1 0 0 0 円、販売先同上)

* J T A 会員として年会費を納入している小学生・中学生は無料。

未収学者 無料

チケット問い合わせ先 J T A 本部事務所 0 3 - 3 7 3 0 - 6 9 2 9 担当 河田スミレ

第19回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権大会参加申込書・誓約書・ドーピング検査許諾書

大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約し、許諾し、全日本大会への出場を申し込みます。

- 1、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 2、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、手による顔面強打は、絶対行いません。
万一、自己の手による顔面強打により、相手方が負傷し、その治療費が保険金で賄えない場合
(たとえば、歯の骨折など) 治療費の実費を相手方に弁償します。
- 3、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 4、私は、「フルコンタクト・テコンド - は、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により本大会への参加を希望します。
それゆえ試合において如何なる事故が生じても、自己の責任として処理し、
本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓約します。
- 5、試合により「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
民事訴訟などにより、大会主催者およびその関係者に対して民事上の責任を問いません。
死亡 5千万円、後遺障害(失明など) 5千万円、入院1日6千円、通院1日4千円
- 6、私は、所属支部・道場などを通じて「スポ - ツ安全協会スポ - ツ安全保険」に加入しています。
- 7、尿や血液採取など如何なるド - ピング検査にも全面的に協力し、異議を申し立てません。
陽性反応が出た場合、氏名・所属団体の公表など定められた罰則に従います。
- 8、全日本大会入賞経験、段位、所属団体などの経歴に虚偽詐称はありません。
- 9、選抜された場合、かならず貴大会に出場します。正当な理由無く欠場した場合、反則金10万円を支払います。
- 10、本全日本大会のテレビなどの放映権、試合を記録した文章や写真などを利用した書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利は、すべてJTAに帰属することに同意し、誓約します。
上記に一つでも違背した場合、大会主催者の定めた規程および罰則を遵守し、異議を申し立てません。

*記入漏れ、虚偽詐称は、失格となります。

年 月 日

申請者 住所

(ふりがな)

氏名

印

現段

段

生年月日(西暦)

年

月

日生(

歳)

身長

C m、

体重

K g

血液型

型

所属(JTA/WTF/ITF)

支部・道場

(所属道場代表者名

電話

)

住所

電話

出身地

得意技

過去の全日本大会、本年度予選会等成績(必ず記入)

1

2

出場種目

男子無差別級組手

女子無差別級組手

蹴武の型(蹴武の型の名称

予選

決勝

)

第 19 回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権
セコンド登録および記念懇親会
参加申込書

記

申請選手

印

所属

1 , 私は、下記の会員をセコンドとして登録します。

<注意 セコンドは、メイン1名、サブ2名、合計3名まで。全員チケットが必要です>

メインセコンド氏名	所属	支部	段・級
サブセコンド氏名	所属	支部	段・級
サブセコンド氏名	所属	支部	段・級

2 , 私は下記の全日本大会記念懇親会（会費制）に

参加します

参加しません

11月8日(土)午前11時30分 (集合11時頃)
於 横浜グランド・インターコンチネンタル・ホテル 最上階カリユウ
(横浜みなとみらい内。JR桜木町駅下車徒歩13分)

3 , 全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場
抱負・思い・決意等の文章

JTA本部HP上に掲載するので、かならず下記へメールしてください。

hp@jita.jp